

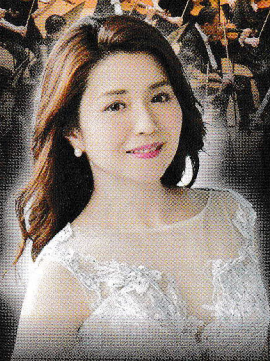
ベートーヴェン
交響曲「第九」

ベートーヴェン エグモント序曲

第23回
演奏会

指揮
小松長生

合唱指導：富澤 裕



ソプラノ
砂川 涼子
©Yoshinobu Fukaya



メゾ・ソプラノ
林 美智子
©Toru Hiraiwa



テノール
西村 悟
©T.Tairadate



バリトン
萩原 潤

2023年12月3日(日)

会場 東京芸術劇場コンサートホール
午後2時開演(午後1時ロビー開場)

■チケット申込み 9月13日(水)予約受付開始

■全席指定

S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円
C席 2,000円 D席 1,000円

東京フロイデ合唱団
TEL 03-5940-0731 (平日午前11時～午後4時)
FAX 03-6304-1688 メール freude@td6.so-net.ne.jp



主催：一般社団法人 東京フロイデ合唱団 ホームページ <https://www.tokyofreude.org>
後援：東京都／豊島区／生活協同組合・東京高齢協

東京フロイデ

検索

団員への花束などの贈り物をご遠慮ください。受付でのお預かりもいたしません。

第47回国際連合の「国際高齢者年」の決議を機に「人生の完成期に生涯忘れられない感動を」と「東京高齢協合唱団」が設立され、1998年から毎年「第九」を歌って来ました。2006年には「東京フロイデ合唱団」と改称して、幅広い年齢層に参加を呼び掛けて演奏活動をしています。発足以来、初心者にも門戸を開いてきており、毎年「前年を超える演奏をしよう!」をスローガンに、世代を超えて共に「歓喜の歌」を響かせています。毎年の「5000人の第九」(国技館)への参加、2008年の「世界九条会議」(幕張メッセ)にも参加して多くの人々と合唱しており、歌を通じて世界平和を希求しています。オーケストラは日本フィルハーモニー交響楽団、指揮は外山雄三マエストロに長い間タクトを振って頂きましたが、現在は小松長生マエストロに指揮をお願いし、富澤裕先生の合唱指導、真形郊子先生のピアノ、辻端幹彦先生のヴォイストレーニングで一步一步合唱力を高めています。2021年11月1日一般社団法人になりました。



合唱指導
富澤 裕



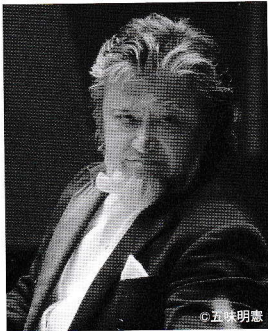
ピアノ
真形 郊子



ヴォイストレーナー
辻端 幹彦

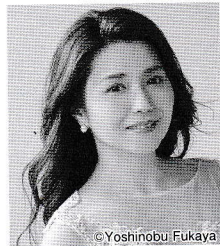
出演者紹介

Profile



小松 長生 (指揮) Chosei Komatsu, Conductor

東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。パッファロー管エクソン派遣指揮者、ボルティモア響アソシエート、キッチナー・ウォーター交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、リビウ国立歌劇場首席客演指揮者、武生国際音楽祭音楽監督、東京フィル正指揮者等を経て、現在コストリカ国立交響楽団桂冠指揮者及び、セントラル愛知交響楽団桂冠指揮者。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、プラハ放送響、北ドイツフィル、ポリショイ劇場、キエフ国立オペラ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、『NHKらららクラシック』、『題名のない音楽会』、『東急ジルベスターコンサート』、TBS『砂の器』(千住 明・作曲、羽田 健太郎/日本フィル)、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会などを指揮。音楽芸術学博士。



砂川 涼子 (ソプラノ) Ryoko Sunagawa, Soprano

可憐な舞台姿と聴くものの心を震わせる歌声で高い人気を誇るソプラノ歌手。日伊声楽コンクール優勝、日本音楽コンクール第1位等、数々の受賞歴を誇る。武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。その後イタリアでも研鑽を積む。新国立劇場「オルフェオとエウリディーチェ」エウリディーチェで本格的オペラデビュー以来、数々の公演に出演を続け、その実力に裏打ちされた歌唱は常に高い評価を得ている。また、活動の場はオペラにとどまらず、オーケストラ公演、リサイタルでも全国各地から招かれている。テレビ、ラジオへの出演も数多く、NHKニューイヤーオペラコンサートにも出演を重ねる。デビュー・アルバム『ベルカント』に続き日本の歌を集めた新譜をリリースする。藤原歌劇団団員。沖縄県宮古島出身。



林 美智子 (メゾ・ソプラノ) Michiko Hayashi, Mezzo Soprano

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプロロス声楽コンクール最高位、第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。新国立劇場等を中心に数多くのオペラに出演、最近ではモーツァルトの歌劇ダボンテ三部作をプロデュースするなど人気、実力ともに日本を代表するメゾ・ソプラノ。CDは「地球はマルイゼ〜武満徹:SONGS〜」など3枚をリリース。大阪音楽大学特任准教授。
公式HP <https://hayashimichiko.themedia.jp/>



西村 悟 (テノール) Satoshi Nishimura, Tenor

日本大学芸術学部、東京藝術大学大学院修了。リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位、日本音楽コンクール第1位。山田和樹&スミス・ロマン管とメンデルスゾーン「讃歌」、佐渡裕&ケルン放響「第九」、小林研一郎&名古屋フィル&ヴェルディ「レクイエム」等で共演。2016年には大野和土指揮バルセロナ響にて欧州デビュー。オペラでは「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」「ラインの黄金」「魔笛」等に出演。2021年に初アルバム「Un passo」リリース。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。



萩原 潤 (バリトン) Jun Hagiwara, Baritone

東京藝術大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了後、渡独。オペラでは二期会創立50周年記念「ニュルンベルクのマイスタージンガー」ベックメッサーで注目を集め、その後も二期会『サロメ』ヨカナーン、『魔笛』パパゲーノ、びわ湖・神奈川及び新国立劇場「タンホイザー」ピーテロルフ、日生劇場「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵等、数多くの公演で好評を博している他、近年も二期会『フィガロの結婚』タイトルロール、東京・春・音楽祭「トゥーランドット」ピン等で出演。またコンサートでも、ヘンデル「メサイア」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等で高い評価を得ている。二期会会員

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月に放浪暁雄を中心に創立。「オーケストラ・コンサート」「リージナル・アクティビティ」「エデュケーション・プログラム」という三つの柱で活動を行っている。

首席指揮者ピエタリ・インキネン、首席客演指揮者カーチュン・ウォン(2023年9月から首席指揮者)、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンデル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という充実した指揮者陣を中心に演奏会を行い、「音楽を通して文化を発信」している。

東日本大震災の被災地に音楽を届ける「被災地に音楽を」を2011年4月より開始、2022年末には320回を超えている。その活動が高い評価を受け、2022年第16回後藤新平賞を受賞。「人に寄り添う」「温かさ」の土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

毎週水曜日22時54分~23時、BS朝日「Welcomeクラシック」出演中。
ホームページ <https://japanphil.or.jp> 公式Twitter @Japanphil

会場案内図

